

プレスリリース

グラスヒュッテ、2025年7月

ツァイトヴェルク・デイト

温かみのある色合いが引き立てるエレガントなデジタル表示

A.ランゲ&ゾーネは、リング状の日付表示を備えた機械式デジタル時計の新たなモデルを発表します。ツァイトヴェルクファミリーで初めて、ピンクゴールドの温かな色調とグレーダイヤルを組み合わせたモデルです。



ピンクゴールドの新作ツァイトヴェルク・デイト

2009年、A.ランゲ&ゾーネは、新時代の時計、ツァイトヴェルクを発表し、精密時計製造の世界を驚きで席卷しました。瞬転数字式時刻表示には精巧な機械式ムーブメントが隠れています。時計界に驚きを持って迎えられたこのファミリーは、伝統的な時計作りの愛好家であるだけでなく、先進的なコンセプトや型破りなソリューションも高く評価する方々のニーズに応えるタイムピースです。

2019年に発表されたツァイトヴェルク・デイトには、瞬転数字メカニズムに加えて、ダイヤル

を囲む革新的な日付リングも備えられています。日付リングはガラス製で、1から31までの数字がプリントされています。

日付リングの下に取り付けられているリングの小さな赤色のセグメントが、深夜12時に一日分先に進む仕組みです。現在の日付は赤で表示され、1ヶ月かけてその赤の表示が1周します。その日の日付が赤色で表示されるため、時計をみた瞬間に直感的に日付が分かります。日付表示を修正するには、8時位置にあるボタンを押します。ボタンから手を離れた瞬間に赤色部分が先へ進みます。

特徴的なフェイス

ホワイトゴールド750のモデルが発表されてから6年後の今年、ピンクゴールド750のツァイトヴェルク・デイトが登場します。どちらのモデルにもグレーダイヤルが備えられることで、エレガントな雰囲気を纏ったデジタル表示となっています。論理的に視認性を最適化するという観点から、時と分が数字で表示される窓は左から右に向かって配置されており、大きくて見やすいデザインです。特許技術の瞬転数字式表示機構は、一日を通して瞬時に1,440回正確に数字を切り替えるほどの精密さを誇ります。

4時位置の調整ボタンで、時表示のみを進めることができます。ムーブメントの切替えプロセスと切り離して時表示を調整できるようにするため、ボタンを押すたびに、クラッチが時リングを瞬転数字式表示機構から切り離します。日付機能と同様に、調整ボタンを解除すると、切替えに必要な動力が発生します。

内部へのブリッジ

洋銀製のタイムブリッジは、ツァイトヴェルク ファミリーのデザインにおいて最も個性的な要素であり、その型破りなデザインは革新的なコンセプトにふさわしい舞台となっています。タイムブリッジはムーブメントの一部であると同時に、すべての時刻表示をひとつにまとめるフレームとしての機能を果たします。

1分に一度のパワフルなパフォーマンス

時表示を進めるために必要な膨大な動力は、特許技術の動力制御メカニズムがコントロールするパワフルなツインバレルによって供給されます。

フライガバナーが過剰なエネルギーを吸収し、瞬転数字式表示機構全体を保護します。動力制御メカニズムが数字ディスクの切替えに必要な動力を60秒ごとに供給します。ツインバレルとテンプの間に配置されたメカニズムは、パワーリザーブが切れるまで常時テンプに一定の力が加わるようにすることによって、歩度の安定に大きく貢献しています。

「ツァイトヴェルク・デイトは、A.ランゲ&ゾーネの時計製造技術に他と異なる独特で現代的な表情を加えました」と、商品開発ディレクターのアントニー・デ・ハスは説明します。「深夜12時ちょうどに、格別なショーを見せてくれます。3つ全ての瞬転数字式ディスクと日付リングが同時に切り替わるのです。その瞬間に、ケースを通してその力強さと正確さを感じられるでしょう」。



新作ツァイトヴェルク・デイトの内側

自社製キャリバーL043.8

ツァイトヴェルク・デイトの心臓部、自社製キャリバーL043.8は、毎時18,000回振動（2.5ヘルツ）です。ツインバレルと2つの主ゼンマイを搭載した手巻きキャリバーにより、72時間のパ

ワリザーブを確保しています。ピンクゴールドのケースも直径44.2 mm、厚さ12.3 mmとなっています。そのサファイアクリスタル製ケースバックからは、516個の部品から成るムーブメントに施された職人技による精巧な仕上げを見ることができます。ブランド名がエングレービングされた、サンバースト仕上げの角穴車や繊細な動力制御ゼンマイなども技術的および審美的な特徴となっており、異なる素材や表面装飾の調和の取れた構成に鮮やかなアクセントを添えています。

A.ランゲ&ゾーネについて

ドレスデン出身の時計師フェルディナント・アドルフ・ランゲは、1845年に時計工房を設立し、ザクセン高級時計産業の礎を築きました。彼が製作した価値の高い懐中時計の数々は、今でも世界中のコレクターたちの垂涎的となっています。第二次世界大戦後、A.ランゲ&ゾーネは東ドイツ政府により国有化され事実上消滅、一時はその名が人々の記憶から消え去ってしまうかと思われました。しかし1990年、フェルディナント・アドルフ・ランゲの曾孫ウォルター・ランゲがブランドを復活させます。現在では、ゴールドまたはプラチナのケースを使った腕時計を中心に、毎年数千本のみ製作しています。A.ランゲ&ゾーネの時計には必ず、自主開発され、手作業で入念な装飾と二度組みを行ったムーブメントが搭載されています。1990年以降に開発された自社製キャリバーは75個を数え、A.ランゲ&ゾーネは世界でも最高峰の地位を確立しました。その代表作には、一般モデルとして初めてアウトサイズデイトを搭載したランゲ1や、瞬転数字式時刻表示を搭載したツァイトヴェルクがあります。まれに見る複雑機構を搭載するツァイトヴェルク・ミニッツリピーター、ダトグラフ・パーペチュアル・トゥールビヨン、トリプルスプリットは、受け継がれてきた時計作りの技をさらに高めようとするA.ランゲ&ゾーネの真摯な姿勢を体現した時計です。2019年には軽快さとエレガンスが共存するステンレススチール製オデュッセウスを発表し、A.ランゲ&ゾーネの歴史に新たな章を開きました。

プレス窓口

リシュモンジャパン合同会社
A.ランゲ&ゾーネ マーケティング コミュニケーション

電話：03-4572-4520 | メール：presse@lange-soehne.com

インターネット

alange-soehne.com | facebook.com/langesoehne | youtube.com/user/alangesoehne
instagram.com/alangesoehne | #alangesoehne | #langezeitwerk | #langezeitwerk | #neverstandstill

画像ダウンロード

press.alange-soehne.com

ツァイトヴェルク・デイト		Ref. 148.033
ムーブメント	ランゲ自社製キャリバーL043.8、手巻き、ランゲ最高品質基準準拠、手作業による組立ておよび装飾、五姿勢調整済み、素材の表面を生かした洋銀製のプレートおよび受け、ハンドエングレービングを施したテンプ受けおよび中間車の受け、動力制御メカニズム	
ムーブメント部品数	516	
石数	70	
ビス留め式ゴールドシャトン	2	
脱進機	アンクル脱進機	
調速機	耐震機構付きチラネジテンプ、最高品質の自社製ヒゲゼンマイ、毎時18,000振動の振動数、スワンネック形バネと側面にある調整用ビスにより微調整可能なビートエラー修正機構	
パワーリザーブ	完全巻上げ状態で72時間	
機能	瞬転数字表示式時分表示、ストップセコンド機能搭載スモールセコンド、リング状日付表示、パワーリザーブ表示 AUF/AB（アップ/ダウン）	
操作系	ゼンマイ巻上げおよび時刻調整用リユーズ、4時位置に時表示調整ボタン、8時位置に日付表示調整ボタン	
ケース径	直径：44.2 mm、厚さ：12.3 mm	
ムーブメント寸法	直径：37.0 mm、厚さ：8.9 mm	
風防ガラス & ケースバック	サファイアクリスタル（モース硬度 9）	
ケース	ピンクゴールド750	
防水性	最大3 bar（水深30メートル）	

ダイヤル	シルバー925、グレー
タイムブリッジ	洋銀製、ロディウム仕上げ
針	ゴールド750
ベルト	手縫いのアリゲーターベルト、ダークブラウン
バックル	ピンクゴールド750製ピンバックル